

# 東北新報

發行所 東北新報社  
 編輯 佐藤慎太郎  
 印刷 福島縣平南町五九  
 毎月一回  
 一ヶ月二十錢  
 廣告料 一行五十錢

屋久釜

## 國旗に對する信仰

一、太陽感謝の表現  
 太陽は光と熱の大本元にして委員統治國の如きは全く自  
 て萬物發育の根元たり、森然法に反したる國體なり  
 羅萬象一として太陽の恩恵 吾等はよろしく天啓國體の  
 を蒙らざるはなし、あらゆる尊嚴を自覺し斷じて國體を  
 る食物、着類、住家は勿論汚し國旗を恥かしむるの行  
 暗夜に輝く電燈に至るまで爲あるべからず  
 太陽エネルギーの變化たる  
 を知る、吾等一日も其恩恵  
 を忘れて可ならんや。  
 『古來名將は太陽に向つ  
 て射たず』  
 二、天祖崇拜の表徴  
 天祖大神は日の神として御  
 德太陽の如く四海を光被し  
 給へり、吾等日章旗を仰ぐ  
 こと天祖を仰ぐの心なる  
 べからず  
 三、天祖尊崇の表徴  
 天津日嗣の天皇は天祖の延  
 長神、現人神として御聖德  
 四方を光し皇威の赫々たる  
 日輪の天上に輝くが如し、  
 宜しく天皇を仰ぐの心を以  
 て國旗に敬禮すべきなり。  
 四、國體擁護の表徴  
 萬世に窮りなき皇位を中心  
 としたる萬邦無比の我が國  
 體は日輪を中心として太陽  
 系の運行變りなきが如く大  
 宇宙の自然法に合致したる  
 明主義を標榜し我が天職を

國體なり。共和國體、聯邦  
 我が建國の大精神は平和的  
 統治にあり、我が民族の大  
 希望は四海同胞境に在り。  
 願ふに將來世界的平和を絶  
 對的に主張し得る天職を有  
 するもの我が大日本帝國を  
 指して他に適當の國あらん  
 や、嗚呼神州は眞に萬國平  
 和の宗元、四海安寧の保障  
 と稱すべきなり。日章旗は  
 實に此の天業精神を表現す  
 るものなり。

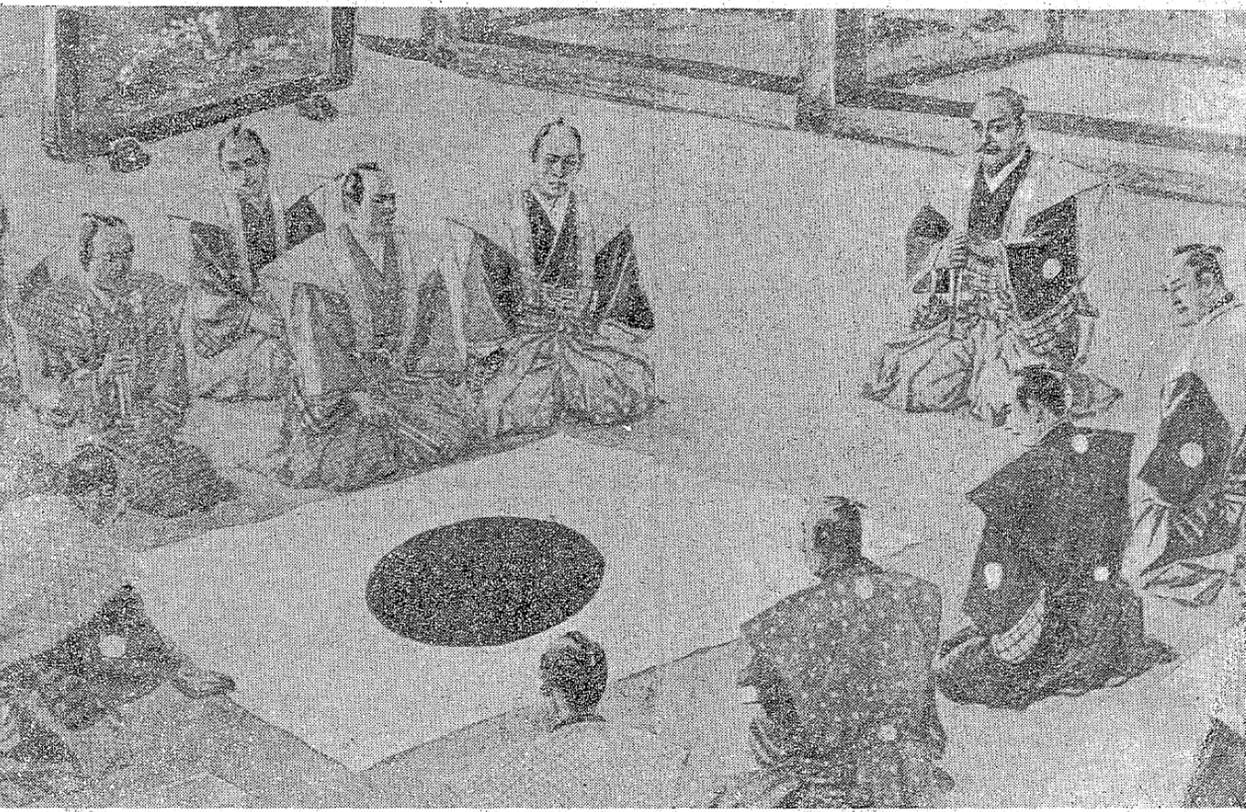
表證するものなり。國旗の  
 嚮ふ所、國光に輝き日章り、朝日に匂ふ山櫻の芳香  
 旗の翻る所、皇威に振るを放つ所以たり。  
 今や滿鮮の野、南漠の濱朝  
 日の直刺す地、夕日の空然  
 邊、處として皇化にうるを  
 はざるはなし。應がては天  
 の下四方の國々も安らげ  
 平けく、治まりて忝く我皇  
 風を仰ぐに至るべきなり。  
 嗚呼我日章旗は實に萬國平  
 和の魁にして四海同胞は我  
 が民族の理想觀たるなり。  
 七、人類完成の標的  
 朝陽の圓滿完全なる、高潔  
 にして雄大なる、崇嚴にし  
 て生氣ある自然的壯觀は實

## 國旗の決る刹那

財團法人大日本少年團聯  
 盟登録一二四六號  
 福島縣浪江町少年團  
 團長 佐藤永春

アメリカ、ロシア、イギリス  
 スなどの外國船が、しきりに  
 日本の近海へやつて來るさ  
 やうになつたのは、徳川幕  
 府も終りに近い嘉永、安政  
 の頃でした。その頃日本に  
 は、まだ國旗が決してゐな  
 人の中には、徳川家の旗印  
 を堂々と翻した外國船に對  
 抗して、我が國の船にも日  
 本を表す力強い旗印が、ご  
 うしても必要になつて來ま  
 月、江戸城内で大評定が開  
 かれました。

その席上で水戸の徳川齊昭派は睨みあひの状態になつ  
 公（正面にゐるひげのあるて終ひました、  
 人）は、日の丸こそ、日本そのところへ、勘定奉行のさ  
 の國旗として最もふさはし川路左衛門尉は、かねて島終  
 際、一同は其美しさ勇まし  
 と、一同は其美しさ勇まし  
 と、一同は其美しさ勇まし



いものであつた、大いに主  
 張しましたが、幕府思ひの  
 多しの役人達はなかに、聞  
 き入らず、日の丸派と中黒  
 りません。日本の國旗は日  
 の丸と決められたのです。  
 私たちは輝やく國旗を仰ぐ  
 の功績を思ひ出させう

## 贊助芳名

- （順不同）  
 平市役所 關内正一 清野  
 キヨ 萩原義雄 鈴木重助  
 藤内祐成 會川延太郎 磐  
 城家政學園志田秀雄 松井  
 深 柴田徳二 石城部内各  
 學校長會 武藏鐵工所 吉  
 洋鐵工所 三瓶電機商店  
 昭和鐵工所 白井靖郎 森  
 本盛一 平電力株式會社  
 八日本電力株式會社平營業  
 所 松本一郎 平製作所  
 平電氣鑄鋼所 片倉磐城製  
 糸株式會社 田邊商店 大  
 谷要次郎 酒井清 愛澤長  
 資 瀧口豊 福島縣町村長  
 會石城支會 草野央 野崎  
 滿藏 スガノヤ提灯店 志  
 賀材本店 門傳とみの 平  
 銃砲火藥店 坂本紙店 山  
 田警廳 小宅嘉久治 井上  
 茂作 吉田鐵工所 磐城平  
 分教會 久保木林之助 平  
 病院 トキワ商會 小野屋  
 藥舖 鶴屋洋品店 佐藤福  
 太郎 平庶民金庫 梅原利  
 三郎 大谷武雄 横山彰介  
 大黒屋勝次商店 丸ほん  
 家具商店 三井吳服店 百  
 澤商店 關内藥局 伊勢屋  
 商店 吉田喜代治 河田梅  
 吉 工藤源吉 青木眞治  
 山崎花郎 色川材木株式會  
 社 馬目支店 江川屋足袋  
 店 磐城新聞社 三井タク  
 シー 松本金市郎

三井タクシー  
 電話六八五番

# 養狸業家と

## その飼育方に就いて

最近養狸家が全国的に増加し、斯くして一二年食費で狸卅匹も飼育が出来て来たが、まだ其用途經過は今日では毎年産るから豚一匹三十圓として其の甚大さを認める事が出来るばかりだと語つた。狸の方は一匹七十圓と見て其郷土たる石城郡内に於て一すがひ價格百五十圓から二百圓と云ふ高價に上つて来た事を喜ぶ。

其の二三を上げれば湯本町期や四期の受胎がある故に石城郡下には養狸組合も出た。同翁の處は植田警察署の邊が豚よりも少しむづか痛切に感ずるものである。

の向ひに居を構へ店は和洋食料理だが一昨年野生の狸一すがいを飼育せるのみであつたが今年の如きは實に四五十匹にも繁殖して堂々たる狸舎を幾棟となく連れてゐるを見た。

一日山田屋別館を尋ねて来たが翁の話によれば狸を養ふのは實に簡単に飼育が出来たが、食物は誠に少量で一ウインドウの飾り方にこんな日に一回でよろしく、飯又は蛙等であるが子供を産んだ時には少しく忙しいものだ、第一親狸の母体へ養生物として牛乳や肉類をあたないければ子供の發育が悪い。受胎してから二ヶ月三日で産む事になつてゐるから養狸家は受胎期を見ながらしてはならぬ。タヌキは常に一定の場所に糞をする故一つの箱を造り狸舎の中央に設置すればよろしく、毎日舎中を掃除する事

## 誰にもすぐ解る

# 廣告法

これではなかつた、難しい事なだ、ある寫真屋さんの術次第でお婿さんの好む寫真が出来ることをマンガ風に説明してゐる、ザツとこんな風で、從來のやり方である人物を一枚寫しにして並べて置く調さからのがれてゐるし誰にもすぐわかる話を取り入れて繁昌してゐるから面白い。

……同じやうな例で文具店さんのチラシによい鉛筆と悪い悪筆の比較を漫画風に現したものが丸から風下に當る方の明き

川中島の合戦に謙信と信玄の一騎打、鎧兜の騎馬武者が槍の代りに鉛筆を持つてゐる一本の槍はシンが弱いのので挫けて折れるし、他の槍はシンが丈夫なので鎧を通して敵を突く

## 日の丸の制令

明治三年正月二十七日、太であつて、乳方明は日の丸から風上即ち旗竿の方をさすに日九の中心から風上の方に、縦幅の百分の一、四二強だけ寄る事になる、この太政官令によつて、〇幅二尺一寸の國旗を作るとすれば横幅は三尺、日の丸の直徑は一尺二寸六分となり更らに丸の中心は風上の方に二分九厘八毛強だけ片寄ること、なるのである。

## 大旗

長さ、一丈三尺  
幅、九尺一寸  
日の丸徑、五尺四寸六分  
日の丸先明き、三尺九寸  
日の丸乳方明、三尺六寸四分

## 中旗

長さ、一丈  
幅、七尺  
日の丸徑、四尺二寸  
日の丸先明、三尺  
日の丸乳方明、二尺八寸

## 小旗

長さ、六尺  
幅、四尺二寸  
日の丸徑、二尺二寸二分  
日の丸先明、一尺八寸  
日の丸乳方明、一尺六寸八分

外國のポスターに騎士を扱つてこんな味を出したものがあつたやうに思ふが、それにしてもすぐに學童達に理解が出来ない萬言に優愉快な漫畫チラシであらう

## 長さと幅の比

何れも三に對する、二・一となる

## 日の丸の大きさ

縦幅の六割、即ち縦の五分の三となる

## 大國旗新調に就て

今般吾等二社主催による國旗新調事業は自發的のものみでなく平全市を飾りたるにあらず我國の始めより日の觀あるを見る。謹んで大の本の國たる事は日本國民日本帝國の永へに日の本の誰人と云ひごも能く知る光を全世界に輝かし、一日處ではあるが、各國旗たるも早く世界平和の實を上げ尊嚴を重視して居る處が多かれん事を希ふものである事と思はれる。茲に皆様にのぞみ諸賢の御萬福をの御贊助に依りて新調せる所

# 祝平神橋落成

平市長 青沼 鋒太郎  
神谷村長 佐藤 庄太郎  
平市會議員

井上茂藏 大谷武雄  
野崎正一 鈴木庫左  
關原義雄 金子政通  
萩原龍輔 川崎文治  
酒沼龍輔 吉田寅之  
永山勇吉 吉田五平  
鈴木光吉 高橋松治  
菅本治郎 大松一庫  
吉村安治 松本德一  
馬目雅治 矢吹初松  
山邊義政 矢吹龜松  
佐藤幸太郎 鈴木英助  
鈴木彌太郎 藤田英助

## 神谷村役場

村長 佐藤庄太郎 收入後 佐藤長次  
助役 鈴木為次郎 校長 井上純

## 神谷村會議員

志賀龜藏 佐藤佐市郎  
木村健藏 酒井喜作  
佐藤新次郎 神谷市郎  
宇佐美直保 木村幸郎  
鈴木庄之助 吉田信雄  
鈴木八十治 西田忠助  
鈴木善壽 大友義助  
中野辰之助 大友義助

## 近火御見舞御禮

平賀市役所 佐藤福太郎 材木店

良品廉賣に勝る商略なし  
警城セメント 特代理店  
**釜屋商店**  
東京振替口座一〇九五六  
電話九番九九九番